

第3回獣医学術奨励賞選考委員会議事概要 (学術部会個別委員会)

I 日 時 平成18年11月15日(水) 11:00 ~ 12:30

II 場 所 日本獣医師会・会議室

III 出席者

【委員長】 酒井 健夫 日本獣医師会・学術担当理事、学術部会長 (日本大学教授)

【小動物部門委員】 (○:副委員長)

大橋 文人 大阪府獣医師会 (大阪府立大学教授)

中間 實徳 山口県獣医師会・会長

西村 亮平 東京都獣医師会 (東京大学教授)

(欠 席)

○佐々木伸雄 東京都獣医師会 (東京大学教授)

中山 裕之 東京都獣医師会 (東京大学教授)

【産業動物部門委員】 (○:副委員長)

岡本 芳晴 鳥取県獣医師会・理事 (鳥取大学教授)

○加茂前秀夫 東京都獣医師会 (東京農工大学教授)

澤田 勉 大阪府獣医師会・副会長

(欠 席)

酒井 淳一 山形県獣医師会 (山形県農業共済組合連合会第2事業部長)

佐藤 基佳 北海道獣医師会・監事 (帯広畜産大学教授)

【公衆衛生部門委員】 (○:副委員長)

熊谷 進 東京都獣医師会 (東京大学教授)

高鳥 浩介 神奈川県獣医師会 (国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部長)

竹内 久 徳島県獣医師会・前会長

(欠 席)

○品川 邦汎 岩手県獣医師会・理事 (岩手大学教授)

山本 茂貴 東京都獣医師会 (国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長)

【本 会】 中川 秀樹 (副会長)、大森 伸男 (専務理事)

IV 議 題

1 協議・検討事項

平成18年度日本獣医師会獣医学術奨励賞「功劳賞、学術賞」の選考について

V 会議概要

会議の冒頭、酒井委員長から挨拶があった後、事務局から欠席委員の委任状提出状況について報告が行われ、小動物部門は大橋委員、公衆衛生部門は熊谷委員にそれぞれ副

委員長の代理を委任することとされた。

1 協議・検討事項

(1) 平成18年度日本獣医師会獣医学術奨励賞「功労賞、学術賞」の選考について

まず事務局から、獣医学術奨励賞の選考要領等について説明が行われた後、功労賞については推薦のあった業績の中から、学術賞については学会機関誌（日本獣医師会雑誌）に掲載された研究論文（原著・短報）の中から、部門ごとに分かれて厳正なる審査が行われた結果、それぞれ次のとおり選考された。

【功労賞】

〔小動物部門〕

小動物臨床獣医学の発展と普及 坂本 紘（鹿児島大学名誉教授）

〔産業動物部門〕

牛の先天異常に関する研究と啓蒙普及 濱名克巳（鹿児島大学名誉教授）

〔公衆衛生部門〕

狂犬病の制御に関する研究 源 宣之（岐阜大学名誉教授）

【学術賞】

〔小動物部門〕

化学発光酵素免疫法による犬血清サイロキシシンおよび甲状腺刺激ホルモン濃度の基準範囲（日本獣医師会雑誌第59巻第5号）

土屋 亮（麻布大学獣医学部）、他

〔産業動物部門〕

石川県で近年分離された牛ウイルス性下痢ウイルスの遺伝子解析と血清学的性状（日本獣医師会雑誌第59巻第5号）

林 みち子（石川県南部家畜保健衛生所）、他

〔公衆衛生部門〕

最近10年間の東京都芝浦食肉衛生検査所における豚丹毒の摘発状況、分離菌の血清型および薬剤感受性の特徴（日本獣医師会雑誌第59巻第6号）

宮尾陽子（東京都芝浦食肉衛生検査所）、他

(2) 選考結果の報告について

各部門の功労賞及び学術賞の選考結果については、必要に応じて選考理由等を付したうえで、獣医学術奨励賞表彰規程第9条に基づき、日本獣医師会会長に報告することとされた。また、奨励賞については、平成19年2月の平成18年度日本獣医師会学会年次大会期間中に選考委員会を開催して決定することとされた。